

はじめに

全国整備新幹線整備法が1970年に制定されて以来、「多極分散型国土の形成」という理念の下で整備新幹線計画が推進されてきました。しかし政治の論理、激動する経済状況の変化の波をモロにかぶって、20有余年を経た今でもその実像を現わしていません。

そもそも整備新幹線構想とは何なのか、その高らかな理想に比べて現実にはどうしてこのようになってしまっているのか。そこが私たちのこの研究の出発点です。そして現状を分析、批判し、問題提起することを私たち自身にテーマとして課して研究した成果がこの冊子なのです。

研究を始めるにあたっては、私たちの先輩方の研究「整備新幹線と日本の鉄道のあり方」(1988年度一橋祭研究)から学ぶ点が多く、また実際の研究作業においては多くの文献、資料を参考とさせていただきました。さらに部員が北海道、青森県、長野県、富山県、熊本県、長崎県、鹿児島県の東京事務所、または県庁の新幹線担当部局にお邪魔して、貴重な資料、情報を提示していただきました。この紙面を借りて、お世話になった各方面の皆様に対して厚く御礼申し上げる次第です。

学生の研究ゆえに、未熟な点多々あるかとおもいますが、何かお気づきの点などがございましたら、ぜひ私たちまでお知らせ下さい。

1993年晩秋 代表者